



ミツバノバイカオウレン  
「三つ葉の梅花黄蓮」(キンポウゲ科)  
本州(中部地方以北の日本海側)のやや湿った亜高山~高山に生える多年草。園内では同じ仲間のバイカオウレンも観察することができます。

# 箱根湿生花園の 花だより

2019年 3月 15日 発行

箱根仙石原でも晴れた日は日差しが暖かく感じられるようになりました。ミズバショウやカタクリも冬の休眠から目覚め、徐々に花数を増しています。お散歩しながら春のお花を探してみたいはいかがでしょうか？



『森のカフェ HAKONE オープン』  
箱根湿生花園に「森のカフェ HAKONE」がオープンしました！サンドイッチなどの軽食やドリンク、園内で収穫したいちご「箱根りりか」を使ったデザートなどを取り揃えております。  
営業時間 9:00 ~ 16:00



『春の山野草展 2019』  
春に咲く、日本や外国の山野草を展示しています。おなじみの花やマニアックな山野草も紹介しています。開催期間は4月10日までです。どうぞお楽しみください。



ショウジョウバカマ  
「猩々袴」(ユリ科)  
北海道~九州の山地の谷沿いや林野の湿ったところに生える多年草。名前の由来は、花を猩々の顔に、葉を袴に見立てたところから。




## Pick Up ミズバショウ 「水芭蕉」サトイモ科

ミズバショウは、北海道~本州(兵庫県、中部地方以北)の湿原や湿潤な林内に生える多年草です。名前の由来は、水辺に生え、葉が芭蕉(バナナの仲間)に似ていることから名づけられました。白い花びらに見えるものは苞といい、本当の花は苞の中にある淡緑色の棒状のものに密生して付いています。花が終わると葉はどんどん大きくなり、翌春のために栄養を蓄えていきます。  
箱根湿生花園のミズバショウは、順調にいけば、今年は3月下旬に見頃を迎える見込みです。園内では約2万株のミズバショウが植栽されており、群生する姿をご覧ください。箱根に春を告げる純白のお花をぜひご堪能ください！

File16 クサガメ カメ目インガメ科

春の暖かな日差しを浴びると植物だけでなく、動物たちも目を覚まします。  
クサガメは、本州~沖縄の池や河川に生息する淡水性のカメです。メスは大型になり、最大でも約30cmほどの体長になります。子ガメはゼニガメと呼ばれ、日本でもなじみ深いですが、最近の研究では18世紀末に朝鮮半島から持ち込まれた移入種であることが分かっています。  
園内では、太陽が出て気温が上がってくると甲羅干し(日光浴)をしている様子や、子ガメたちが地上に出てくる姿を見ることができます。物音に敏感なので静かに観察してみてください。



### Botanical Gallery



**ミスミソウ**  
本州(中部地方以西)~九州の落葉広葉樹林内に生える多年草。雪割草とも呼ばれる。



**カタクリ**  
北海道~九州の林内に群生する多年草。球根からはデンプンが取れ、かつて片栗粉として利用した。



**ミツマタ**  
中国~ヒマラヤ原産の落葉低木。名前の由来は、枝が3つに分かれて出ることから。



**キクザキイチゲ**  
北海道~本州(近畿地方以北)の山地の落葉樹林内に生える多年草。花色は変異が多く、淡紫色~白色がある。



**コシノコバイモ**  
本州(北陸地方、静岡県、福島県)の山林の薄暗い場所に生える多年草。名前は、越後のコバイモという意味。



**セントウソウ**  
北海道~九州の林野や林縁などに生える多年草。早春に小さな白花を多数咲かせる。



フクジュソウ 「福寿草」(キンポウゲ科)  
写真は、2019年3月14日現在の様子。満開のフクジュソウを観察することができます。早春の花は開花期間も短いので、どうぞお早めにお越しください。

**ご利用案内**  
通常営業 9:00 ~ 17:00 (最終入園 16:30)  
大人(中学生以上) 700円 小人(小学生) 400円

**アクセス**  
小田原駅または、箱根湯本駅より箱根登山バス(湖尻・桃源台行)“仙石案内所前”下車、徒歩8分。強羅駅より箱根登山バス(湿生花園行)終点下車。東名高速道路・御殿場ICより、車で20分。

Hakone Botanical Garden of Wetlands  
**はこね湿生花園**  
〒250-0631 神奈川県足柄下郡箱根町仙石原 817  
<http://hakonekanko.com/>